

単元名 立ち上げ！ワイヤーアート(立体)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 針金の形を変えながら、立体に表したときの動き、バランスなどを理解し、工夫して表すことができる。
- (2) 針金の形を変えながら、表したいことを見付け、どのように表すかを考えるとともに、友達の作品を鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 主体的に針金に触れ、立体に表す活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05080103_001

【準備等】アルミ針金、ペンチ、ラジオペンチ、金づち、ステープラ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 アルミ針金を曲げたり巻き付けたりして、いろいろな立たせ方を試す。</p> <p>○いろいろな巻き方を試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細かく巻く ・大きく巻く ・立つための足の数 <p>★針金で美しい形をつくろう</p> <p>3 試し巻きしたものを見せ合い、お互いの作品のよさを取り入れ、美しく見える形の構想を練る。</p> <p>○お互いのよさを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不規則に巻く ・規則的に巻く ・しっかり立つ工夫 <p>4～5 立ち上げたい形を想像しながら、針金の巻き方や線の面白さを工夫してつくる。</p> <p>○つくりながら思い付いたアイデアを生かして形を整える</p> <p>6 自分の作った形に名前をつけて、お互いの作品を鑑賞する。</p> <p>○アルミ針金の特徴が生かされた表現や形の美しさや面白さについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くるくるした形が花びらのように見えます。 ・たくさんの輪が付いているのにバランスよく立っています。 	<p>・教科書 5・6 上 P.30, 31</p> <p>・教科書の参考例を見せ、いろいろな曲げ方や締め方、立たせ方があることを知らせる。</p> <p>・ペンチの使い方についてはP.62を参照させる。</p> <p>・工夫してある巻き方に注目させ、自分の作品に生かせるようにする。</p> <p>【評】アルミ針金の特徴を生かし、表したい形を構想する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・うまく立ち上がらせることができず倒れてしまう場合は、児童の思いに寄り添いながら骨組みの形を再考したり、土台を使ったりするよう助言をする。</p> <p>・針金の先で怪我をしないように注意する。</p> <p>【評】アルミ針金の特徴を生かした形や立たせ方など、できあがった作品を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】アルミ針金の形や動きの面白さを生かしながら制作する様子を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・タイトルや針金の曲げ方を参考に、作品のよさや工夫したところを見付けさせ鑑賞カードに記入させる。</p> <p>【評】友達の作品のよさや面白さを見つける活動を通して、「思考、判断、表現」を評価する。</p> <p>【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

他教科等との関連

外国語活動と同じく、ショー・アンド・テルの中で作品について伝えることが考えられる。